

2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 パスロジ株式会社

コード番号 4426

URL <https://www.passlogy.com/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小川 秀治

問合せ先責任者（役職名） 取締役 CFO（氏名） 光野 元彦 TEL 03-5283-2263

定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日

発行者情報提出予定日 2020年9月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年6月期の業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	426	41.7	165	66.7	174	96.2	110	85.0
2019年6月期	300	28.2	99	114.0	89	74.9	59	91.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	110.33	—	41.8	36.1	38.8
2019年6月期	59.63	—	28.7	22.8	33.0

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 — 百万円 2019年6月期 — 百万円

（注1）当社は、2018年9月29日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

（注2）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	551	297	54.0	297.52
2019年6月期	417	230	55.2	230.33

（参考）自己資本 2020年6月期 297百万円 2019年6月期 230百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	167	△105	△34	71
2019年6月期	106	△93	△32	44

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	中間期末	期末	年間			
2019年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	25.00	25.00	24	41.9	12.1
2020年6月期	—	55.00	55.00	54	49.9	20.8
2021年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

（注）現時点において、2021年6月期の配当金は未定です。

3. 2021年6月期の業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	379	△11.0	102	△38.1	102	△41.6	68	△38.0	68.38

※ 注記事項

財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期	1,000,000株	2019年6月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期	300株	2019年6月期	300株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	999,700株	2019年6月期	999,700株

（注）当社は、2018年9月29日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更).....	9
(持分法損益等に関する注記)	9
(セグメント情報).....	9
(1株当たり情報).....	9
(重要な後発事象).....	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2019年7月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、期初から順調に推移していたものの、後半期においては、新型コロナウイルス感染症による自粛の影響で停滞を余儀なくされ、引き続き影響が継続する状況にあります。また、国家間の関係は正の動きもより大きくなり、貿易・投資の面では不安定要素が多くなっております。これらの影響により、日本においては景気減速、さらには急速な設備投資の減少が発生する懸念があります。当社が属するセキュリティ業界においては、前半期はオリンピック期間中の混雑対策、後半期は感染症対策として、在宅勤務環境整備の必要性が一時的に増しており、引き続き高い需要が維持されております。

このような市場環境・経営環境の中で、当事業年度の売上高は426,360千円(前事業年度比41.7%増)、営業利益は165,486千円(前事業年度比66.7%増)、経常利益は174,667千円(前事業年度比96.2%増)、当期純利益は110,294千円(前事業年度比85.0%増)となりました。

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は259,049千円で、前事業年度末に比べ90,473千円増加しております。現金及び預金の増加27,223千円、売掛金の増加33,636千円、預け金の増加26,168千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は292,143千円で、前事業年度末に比べ43,651千円増加しております。ソフトウェアの減少16,047千円、ソフトウェア仮勘定の増加19,455千円、投資有価証券の増加20,929千円、繰延税金資産の増加13,015千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は217,328千円で、前事業年度末に比べ75,525千円増加しております。未払費用の増加7,474千円、未払法人税等の増加41,115千円、未払消費税等の増加13,092千円、前受収益の増加17,305千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は36,438千円で、前事業年度末に比べ8,568千円減少しております。長期借入金の減少8,568千円が変動要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は297,426千円で、前事業年度末に比べ67,167千円増加しております。繰越利益剰余金の増加82,802千円、その他有価証券評価差額金の減少18,134千円が主な変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比較して27,223千円増加し、71,958千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は167,177千円(前事業年度比61,057千円増)となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上170,960千円、減価償却費の計上43,174千円、固定資産受贈益の計上6,760千円、売上債権の増加額33,636千円、預け金の増加額26,168千円、前受収益の増加額17,305千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は105,678千円(前事業年度比11,698千円増)となりました。これは無形固定資産の取得による支出46,553千円、投資有価証券の取得による支出98,634千円、投資有価証券の売却による収入39,508千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は34,274千円(前事業年度比1,872千円増)となりました。長期借入金の返済による支出9,282千円及び配当金の支払額24,992千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

売上については、主力商品である「PassLogic (パスロジック)」の販売が、引き続き中心となると考えております。全体的な見通しとしましては、既存顧客の保守サポート・年間ライセンスによる売上は、堅調に推移すると予想しております。新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワークニーズは、当面継続すると思われる一方で、今後、世界経済の大きな減速が懸念されるため、企業の設備投資は削減されると予想しており、当社の事業活動に影響を及ぼす可能性があります。「PassLogic (パスロジック)」については、2020年3月より、パッケージ版に加えて、クラウド版としての提供を開始しました。これにより、クラウド志向の顧客ニーズにも対応できるようになるため、今後、売上に貢献すると考えております。

また、これまで主に企業や団体などの業務システム向けにご愛顧いただいております「PassLogic (パスロジック)」に加え、個人や、小規模事業者を対象としたサービスである「X3Secure for RDP (トリプルセキュア・フォー・アールディーピー)」を2020年6月22日にリリースしました。海外向けにはデモサイトの構築やプロモーションの強化や、新規パートナーの開拓など、新たなマーケット創出のための準備を進めてまいります。

これらのことから、2021年6月期の業績予想は、売上高379百万円(前事業年度比11.0%減)、営業利益102百万円(前事業年度比38.1%減)、経常利益102百万円(前事業年度比41.6%減)、当期純利益68百万円(前事業年度比38.0%減)をそれぞれ想定しています。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,734	71,958
売掛金	20,802	54,439
前払費用	5,796	9,221
預け金	96,884	123,052
その他	358	377
流動資産合計	168,576	259,049
固定資産		
有形固定資産		
建物	450	5,492
減価償却累計額	△244	△474
建物（純額）	205	5,017
土地	—	1,717
有形固定資産合計	205	6,735
無形固定資産		
ソフトウェア	73,762	57,715
ソフトウェア仮勘定	7,545	27,001
無形固定資産合計	81,307	84,716
投資その他の資産		
投資有価証券	147,230	168,159
差入保証金	6,551	6,551
長期前払費用	1,462	1,231
繰延税金資産	11,733	24,749
投資その他の資産合計	166,978	200,692
固定資産合計	248,491	292,143
資産合計	417,068	551,193

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,282	8,568
未払金	9,799	7,068
未払費用	14,655	22,129
未払法人税等	11,475	52,590
未払消費税等	7,237	20,330
前受収益	88,790	106,095
その他	563	546
流動負債合計	141,803	217,328
固定負債		
長期借入金	45,006	36,438
固定負債合計	45,006	36,438
負債合計	186,809	253,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	10,999	13,498
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	117,067	199,869
利益剰余金合計	128,066	213,368
自己株式	△240	△240
株主資本合計	227,826	313,128
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,432	△15,702
評価・換算差額等合計	2,432	△15,702
純資産合計	230,258	297,426
負債純資産合計	417,068	551,193

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	300,833	426,360
売上原価	55,591	74,515
売上総利益	245,241	351,845
販売費及び一般管理費	145,983	186,358
営業利益	99,258	165,486
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	6,203	9,937
その他	0	2
営業外収益合計	6,204	9,940
営業外費用		
支払利息	312	326
上場関連費用	15,457	—
支払保証料	437	432
その他	251	—
営業外費用合計	16,458	759
経常利益	89,004	174,667
特別利益		
固定資産受贈益	—	6,760
特別利益合計	—	6,760
特別損失		
投資有価証券売却損	5,578	10,467
特別損失合計	5,578	10,467
税引前当期純利益	83,425	170,960
法人税、住民税及び事業税	20,454	64,087
法人税等調整額	3,357	△3,421
法人税等合計	23,812	60,665
当期純利益	59,612	110,294

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金		評価・換 算差額等 合計
		利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計					
当期首残高	100,000	9,500	73,949	83,449	△240	183,209	1,340	1,340	184,550
当期変動額									
剰余金の配当		1,499	△16,495	△14,995		△14,995			△14,995
当期純利益			59,612	59,612		59,612			59,612
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)							1,091	1,091	1,091
当期変動額合計	—	1,499	43,117	44,617	—	44,617	1,091	1,091	45,708
当期末残高	100,000	10,999	117,067	128,066	△240	227,826	2,432	2,432	230,258

当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金		評価・換 算差額等 合計
		利益 準備金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計					
当期首残高	100,000	10,999	117,067	128,066	△240	227,826	2,432	2,432	230,258
当期変動額									
剰余金の配当		2,499	△27,491	△24,992		△24,992			△24,992
当期純利益			110,294	110,294		110,294			110,294
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)							△18,134	△18,134	△18,134
当期変動額合計	—	2,499	82,802	85,302	—	85,302	△18,134	△18,134	67,167
当期末残高	100,000	13,498	199,869	213,368	△240	313,128	△15,702	△15,702	297,426

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	83,425	170,960
減価償却費	33,966	43,174
受取利息及び受取配当金	△6,204	△9,938
支払利息	312	326
固定資産受贈益(△は益)	—	△6,760
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△2,000	—
有価証券売却損益(△は益)	5,578	10,467
売上債権の増減額(△は増加)	18,718	△33,636
未払消費税等の増減額(△は減少)	376	13,092
前渡金の増減額(△は増加)	410	—
未払費用の増減額(△は減少)	△5,043	7,675
預け金の増減額(△は増加)	△41,586	△26,168
前受収益の増減額(△は減少)	32,142	17,305
その他	3,344	△5,962
小計	123,441	180,536
利息及び配当金の受取額	6,204	9,938
利息の支払額	△312	△325
法人税等の支払額	△23,212	△22,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,120	167,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△44,568	△46,553
投資有価証券の取得による支出	△81,532	△98,634
投資有価証券の売却による収入	32,120	39,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,980	△105,678
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	60,000	—
長期借入金の返済による支出	△77,407	△9,282
配当金の支払額	△14,995	△24,992
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,402	△34,274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,263	27,223
現金及び現金同等物の期首残高	64,997	44,734
現金及び現金同等物の期末残高	44,734	71,958

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前事業年度において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払保証料」は、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた689千円は、「支払保証料」437千円、「その他」251千円として組み替えております。

(持分法損益等に関する注記)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額 230円33銭	1株当たり純資産額 297円52銭
1株当たり当期純利益 59円63銭	1株当たり当期純利益 110円33銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

- (注) 1. 当社は、2018年9月29日付で、普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益(千円)	59,612	110,294
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	59,612	110,294
普通株式の期中平均株式数(株)	999,700	999,700

(重要な後発事象)

該当事項はありません。